

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

# 公開実用 昭和63- 107208

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63- 107208

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)7月11日

B 60 C 23/00

7634-3D

23/16

7634-3D

// F 17 C 1/00

Z-8711-3E

審査請求 未請求 (全頁)

⑬ 考案の名称 多目的タイヤポンベ

⑭ 実願 昭61-200136

⑭ 出願 昭61(1986)12月29日

⑬ 考案者 伊地知克巳 鹿児島県日置郡松元町春山1593-1

⑭ 出願人 伊地知克巳 鹿児島県日置郡松元町春山1593-1

⑬ 代理人 弁理士 谷山守

## 明細書

### 1. 考案の名称

多目的タイヤポンベ

### 2 実用新案登録請求の範囲

金属ホイールの外周にゴム（合成樹脂）タイヤを周回した自動車用のチューブレスタイヤにおいて、圧力ゲージとコックとを装備した連結金具を前記金属ホイールに溶着して前記ゴム（合成樹脂）タイヤ内側に連通せしめると共に空気圧入口を備えた柔軟ホースを前記連結金具に接続したことを特徴とする多目的タイヤポンベ。

### 3. 考案の詳細な説明

#### (1) 産業上の利用分野

本考案は、チューブレスタイヤを利用し、持ち運び簡易な主としてパンク修理用のタイヤポンベに関する。

#### (2) 従来の技術

コンプレッサー付の動力ポンベのない場所における自動車、二輪車等のタイヤへの空気注入作業は、手動ポンプでは大変な労力と時間を



必要とするものであった。

(イ) 考案が解決しようとする問題点

上述のように従来では、エアーコンプレッサーの無い場所におけるタイヤへの空気注入作業は大変厄介なものとなつた。例えば二輪車専門店においては、出張パンク修理等の場合、大変な労力と時間とを要するという問題点があつた。

(ロ) 問題点を解決するための手段

このため本考案においては、自動車用チューブレスタイヤを利用し、圧力ゲージとコックとを備えた連結金具を金属ホイールに溶着し、更に空気圧入口を備えた柔軟ホースを前記金具に連結し、予めチューブレスタイヤに空気を圧入充填して空気ポンベを構成し、エアーコンプレッサーのない出張修理等の場合に、軽便に使用するようにしたものである。

以下図面に示した実施例に基いて本考案の要旨を説明する。

(メ) 実施例

図面は本考案タイヤポンベの正面図で金属ホ

1～ル2の外周にはゴム（合成樹脂）タイヤを周回したチューブレスタイヤ1において、3は空気取入れ口で従来から装備されているものである。

4は連結金具で、管体5の一端にコック6を設けて吐出孔8の開閉を行うと共に管体5の中間位置には圧力ゲージ7を設け、タイヤ1内の空気圧力を常時検知し得るようにしてある。

この管体5は、その他端を金属ホイール2に溶着9することによってタイヤ1に連通し、また前記吐出口8に柔軟ホース10を連結し、その先端に設けた空気圧入口11を、空気の注入を要するタイヤの空気取入れ口に重合圧着するようにしてある。

#### （）作用

以上の構成からなる本考案タイヤポンベにおいては、予めエアーコンプレッサにより空気取入れ口3を介してタイヤ1内に空気を圧入充填すれば、通常では、スクーター（50cc）のタイヤ21本分の空気を充填することができ、



所望の場所に小型トラック或は乗用車のトランク等に搭載して自由に運搬することが可能である。

かくして空気充填を必要とするタイヤの空気取入れ口に空気圧入口 11 を重合圧着してコック 6 を開放し、空気を充填するものである。

#### (ト) 考案の効果

以上述べた如く本考案タイヤポンベは、軽便に持ち運ぶことが可能であり、予め空気を充填しておけば時と場所とを問わず軽快に使用することができる一方、空気タイヤを必須とするオートバイ、自転車、農機具、一輪車等のタイヤの空気充填のみならずゴムポート、浮き袋、運動用の各種ボール類等にも有用であり、更に潜水のためのアクアラングのポンベの替りに本考案タイヤポンベを海上に浮べてホースを介して潜水マスクに空気を送ることも可能であり、きわめて広範囲に亘って使用することができ実用上の利益はきわめて顕著である。

#### 4. 図面の簡単な説明

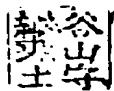


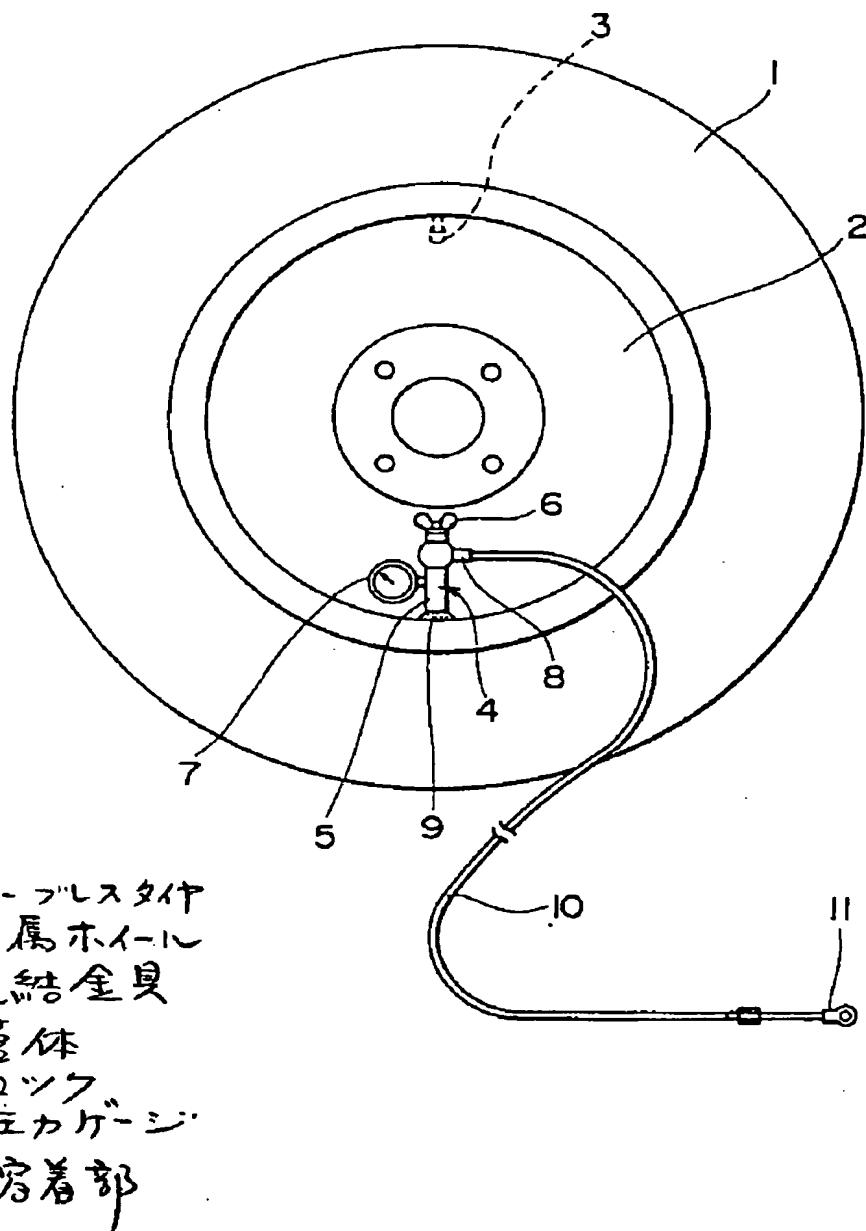
図面は本考案タイヤポンベの一実施例を示す正面図である。

1 ~ チューブレスタイヤ	2 ~ 金属ホイール
3 ~ 空気取入れ口	4 ~ 連結金具
5 ~ 管体	6 ~ コック
7 ~ 圧力ゲージ	8 ~ 吐出口
9 ~ 溶着部	10 ~ 柔軟ホース

昭和 61 年 12 月 29 日

実用新案登録出願人 伊地知 克巳  
代理人弁理士 谷山





実開 63-1072  
代理人  
谷山守